

厚生労働大臣 殿

愛媛大学長 柳澤 康

愛媛大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

|        |    |   |
|--------|----|---|
| 研修医の人数 | 42 | 人 |
|--------|----|---|

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

| 職種    | 常勤   | 非常勤  | 合計     | 職種      | 員数  | 職種          | 員数   |
|-------|------|------|--------|---------|-----|-------------|------|
| 医師    | 213人 | 179人 | 339.8人 | 看護補助者   | 50人 | 診療エックス線技師   | 0人   |
| 歯科医師  | 7人   | 16人  | 18.0人  | 理学療法士   | 6人  | 臨床検査技師      | 43人  |
| 薬剤師   | 34人  | 1人   | 34.7人  | 作業療法士   | 4人  | 衛生検査技師      | 0人   |
| 保健師   | 0人   | 0人   | 0.0人   | 視能訓練士   | 4人  | その他         | 0人   |
| 助産師   | 13人  | 0人   | 13.0人  | 義肢装具士   | 0人  | あん摩マッサージ指圧師 | 0人   |
| 看護師   | 594人 | 16人  | 605.7人 | 臨床工学技士  | 10人 | 医療社会事業従事者   | 5人   |
| 准看護師  | 0人   | 0人   | 0.0人   | 栄養士     | 0人  | その他の技術員     | 20人  |
| 歯科衛生士 | 4人   | 0人   | 0.0人   | 歯科技工士   | 3人  | 事務職員        | 107人 |
| 管理栄養士 | 10人  | 0人   | 10.0人  | 診療放射線技師 | 30人 | その他の職員      | 24人  |

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

|              | 歯科等以外    | 歯科等      | 合計       |
|--------------|----------|----------|----------|
| 1日当たり平均入院患者数 | 512.1人   | 13.7人    | 525.8人   |
| 1日当たり平均外来患者数 | 1,174.2人 | 61.6人    | 1,235.8人 |
| 1日当たり平均調剤数   | 外来 60.6  | 入院 134.2 | 剤        |

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類         | 取扱患者数 |
|-----------------|-------|
| 自家液体窒素処理骨移植     | 0人    |
| 超音波骨折治療法        | 0人    |
| 難治性眼疾患に対する羊膜移植術 | 9人    |
| インプラント義歯        | 0人    |
| 先天性難聴の遺伝子診断     | 2人    |
| 前眼部三次元画像解析      | 61人   |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |
|                 | 人     |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

| 先進医療の種類     | 取扱患者数 |
|-------------|-------|
| カフェイン併用化学療法 | 6人    |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |
|             | 人     |

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

該当なし

3 その他の高度の医療

| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
|-----------|-------|---|
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |
| 医療技術名     | 取扱患者数 | 人 |
| 当該医療技術の概要 |       |   |

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

| 疾患名  | 取扱患者数 | 疾患名   | 取扱患者数 |
|--|-------|---|-------|
| ・ベーチェット病                                       | 63人   | ・膿疱性乾癬  | 8人    |
| ・多発性硬化症  | 90人   | ・広範脊柱管狭窄症   | 3人    |
| ・重症筋無力症  | 79人   | ・原発性胆汁性肝硬変  | 260人  |
| ・全身性エリテマトーデス                                   | 350人  | ・重症急性膵炎   | 3人    |
| ・スモン   | 0人    | ・特発性大腿骨頭壊死症   | 129人  |
| ・再生不良性貧血                                       | 68人   | ・混合性結合組織病   | 122人  |
| ・サルコイドーシス                                      | 100人  | ・原発性免疫不全症候群   | 55人   |
| ・筋萎縮性側索硬化症                                     | 21人   | ・特発性間質性肺炎   | 92人   |
| ・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎                               | 318人  | ・網膜色素変性症  | 76人   |
| ・特発性血小板減少性紫斑病                                  | 92人   | ・プリオン病  | 3人    |
| ・結節性動脈周囲炎                                      | 16人   | ・肺動脈性肺高血圧症  | 1人    |
| ・潰瘍性大腸炎  | 127人  | ・神経線維腫症   | 45人   |
| ・大動脈炎症候群                                       | 28人   | ・亜急性硬化性全脳炎  | 0人    |
| ・ピュルガー病  | 72人   | ・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群  | 3人    |
| ・天疱瘡   | 12人   | ・慢性血栓塞栓性肺高血圧症   | 0人    |
| ・脊髄小脳変性症                                       | 37人   | ・ライソゾーム病  | 6人    |
| ・クローン病   | 59人   | ・副腎白質ジストロフィー  | 0人    |
| ・難治性の肝炎のうち劇症肝炎                                 | 12人   | ・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)   | 0人    |
| ・悪性関節リウマチ                                      | 3人    | ・脊髄性筋萎縮症  | 8人    |
| ・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、<br>大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病) | 489人  | ・球脊髄性筋萎縮症   | 0人    |
| ・アミロイドーシス                                      | 14人   | ・慢性炎症性脱髄性多発神経炎  | 35人   |
| ・後縦靭帯骨化症                                       | 165人  | ・肥大型心筋症   | 259人  |
| ・ハンチントン病                                       | 1人    | ・拘束型心筋症   | 3人    |
| ・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)                             | 49人   | ・ミトコンドリア病   | 3人    |
| ・ウェグナー肉芽腫症                                     | 51人   | ・リンパ管筋腫症(LAM)   | 0人    |
| ・特発性拡張型(うっ血型)心筋症                               | 54人   | ・重症多形滲出性紅斑(急性期)   | 0人    |
| ・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋<br>小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)  | 7人    | ・黄色靭帯骨化症  | 62人   |
| ・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)                            | 6人    | ・間脳下垂体機能障害<br>(PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH<br>分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング<br>病、先端巨大症、下垂体機能低下症) | 360人  |

(注)「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

| 施設基準等の種類       | 施設基準等の種類 |
|----------------|----------|
| ・乳がんセンチネルパ節加算1 | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |
| ・              | ・        |

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| 臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況                | ①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。<br>②. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。 |
| 臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度 | 10回  |
| 部 検 の 状 況                           | 部検症例数    24例    /    部検率            13.00%                 |

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

| 研究課題名   | 研究者氏名  | 所属部門             | 金額        | 補助元又は委託元         |
|---|--------|------------------|-----------|------------------|
| 各種動物モデルを用いた子宮頸癌発生におけるIGF-1および同関連分子の役割の解明              | 杉田 敦郎  | 医学部附属病院          | 50,000    | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 化学物質による細胞内受容体-異物代謝酵素シグナル伝達系撓乱の感受性支配因子の解明              | 宮崎 龍彦  | 大学院医学系研究科        | 4,500,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 患者情報の信憑性を阻害する要因の検証に基づく病院情報システムの再構築                    | 木村 映善  | 大学院医学系研究科        | 500,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 長期縦断大規模ゲノム疫学研究による生活習慣病発症の遺伝因子に関するエビデンス構築              | 三木 哲郎  | プロテオ医学研究センター     | 4,700,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| マラリア原虫スポロゾイト肝細胞侵入関連分子に対する肝細胞側レセプター分子の同定               | 鳥居 本美  | 大学院医学系研究科        | 4,100,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 血管老化におけるアンジオテンシンⅡ受容体新規調節物質の病態生理学的意義                   | 堀内 正嗣  | 大学院医学系研究科        | 4,500,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| がん特異的T細胞レセプターとケモカインレセプター同時発現によるがん免疫療法の開発              | 安川 正貴  | 大学院医学系研究科        | 4,400,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 乾癬発症機序におけるNFκB抑制因子Bcl-1-3、IkBNSシグナル伝達経路の役割            | 橋本 公二  | 先端研究・学術推進機構学術企画室 | 4,000,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 整形外科低侵襲手術のための技術開発およびトレーニングシステムの構築                     | 三浦 裕正  | 大学院医学系研究科        | 1,000,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 小児睡眠呼吸障害診断ガイドライン作成のための研究                              | 岡 靖哲   | 大学院医学系研究科        | 200,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 新規マラリア伝搬阻止ワクチンの開発                                     | 鳥居 本美  | 大学院医学系研究科        | 3,900,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 意味の認知モデルと神経心理学的症候との対応に関する基礎的研究                        | 小森 憲治郎 | 大学院医学系研究科        | 600,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 外部エネルギーと分子標的を認識する磁性ナノ粒子を用いた新たな低侵襲癌治療法の開発              | 渡部 祐司  | 大学院医学系研究科        | 300,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 痙攣発作に基づく精神障害発症動物におけるニコチン受容体の関与                        | 荒木 博陽  | 医学部附属病院          | 900,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 地域高齢者こころの健康とADL・QOLの関係要因-13年後の追跡調査                    | 谷川 武   | 大学院医学系研究科        | 100,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 地域高齢者こころの健康とADL・QOLの関係要因-13年後の追跡調査                    | 斉藤 功   | 大学院医学系研究科        | 100,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 脳卒中予防のための新たな指標である微小脳出血の検討                             | 伊賀瀬 道也 | 医学部附属病院          | 900,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 肝細胞癌で強発現するWT1、PKRのC型肝炎ウイルス発症・進展における臨床的役割              | 日浅 陽一  | 大学院医学系研究科        | 1,100,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 動脈硬化モデルのインスリン抵抗性・脂肪組織異常改善効果としてのAT2受容体機能               | 岩井 将   | 大学院医学系研究科        | 600,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 神経難病におけるmicroRNAの役割の解明                                | 三木 哲郎  | プロテオ医学研究センター     | 50,000    | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| レジスチン遺伝子を標的としたインスリン抵抗性エピジェネティクスモデルの体系的確立              | 大澤 春彦  | 大学院医学系研究科        | 1,100,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 免疫系は白血病幹細胞を拒絶できるか-ヒト化マウスを用いた解析-                       | 藤原 弘   | 医学部附属病院          | 900,000   | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| ヒト制御性T細胞への分化誘導や抑制機能を高める生理活性物質の解析と治療への応用               | 長谷川 均  | 大学院医学系研究科        | 1,000,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |
| 表皮特異的及び表皮とT細胞特異的なK <sub>O</sub> マウスによるSOCS1の乾癬病態関与の解析 | 花川 靖   | 大学院医学系研究科        | 1,200,000 | 補委 文部科学省科学研究費助成金 |

|  |        |              |            |    |               |
|--|--------|--------------|------------|----|---------------|
| 組織特異的遺伝子改変マウスを用いた皮膚腫瘍形成における膜型上皮細胞成長因子の解析     | 白方 裕司  | 大学院医学系研究科    | 1,100,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 毛包特異的癌抑制遺伝子ノックアウトマウスの作製・癌幹細胞の制御を目指して         | 村上 信司  | 医学部附属病院      | 1,000,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 卵巣癌に対する新規がんウイルス・細胞療法の開発とそれを介した生体免疫系反応の解析     | 那波 明宏  | 大学院医学系研究科    | 690,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| TGF- $\alpha$ トランスジェニックマウスを用いた子宮頸癌発生メカニズムの解明 | 杉田 敦郎  | 医学部附属病院      | 100,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 癌遺伝子AKT1を分子標的とした新規口腔癌治療                      | 中城 公一  | 大学院医学系研究科    | 700,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 婦人科癌幹細胞の特性と上皮間葉転換                            | 那波 明宏  | 大学院医学系研究科    | 100,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 細胞機能と分子活性の多次元蛍光生体イメージング                      | 今村 健志  | 大学院医学系研究科    | 5,000,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 新規intravital蛍光イメージングシステムの開発とがん微小環境の解析        | 今村 健志  | 大学院医学系研究科    | 12,900,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 社会心理要因から循環器疾患に至るプロセス解明のための社会・健康科学融合研究        | 谷川 武   | 大学院医学系研究科    | 200,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 傷害脳に出現するマクロファージ様細胞BINCsの多能性幹細胞性の証明           | 田中 潤也  | プロテオ医学研究センター | 3,700,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 地域住民における睡眠呼吸障害が糖代謝に及ぼす影響に関する疫学研究             | 谷川 武   | 大学院医学系研究科    | 5,200,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| Atg5依存性オートファジーによる表皮角化細胞の自然免疫機構の解明            | 佐山 浩二  | 大学院医学系研究科    | 4,300,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 婦人科がん幹細胞研究と免疫療法の融合                           | 那波 明宏  | 大学院医学系研究科    | 100,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 分子遺伝子学的診断に基づいた口腔癌に対する個別化免疫化学療法の開発            | 浜川 裕之  | 大学院医学系研究科    | 3,600,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ウイルス感染と中枢神経障害に関する基礎的研究                       | 末丸 克矢  | 医学部附属病院      | 1,100,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 胸膜中皮腫発生・進展に関わるエピジェネティクス変化の病理病態解析             | 北澤 莊平  | 大学院医学系研究科    | 20,000     | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| オステオポンチン蛋白多型部位を標的とする糸球体腎炎新規治療法の開発            | 宮崎 龍彦  | 大学院医学系研究科    | 700,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 腸管・気管の粘膜上皮バリアにおける細胞骨格系の重要性とその破綻              | 四宮 博人  | 大学院医学系研究科    | 1,000,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 血管新生可視化マウスの作成と新規抗腫瘍血管剤評価系の確立                 | 井上 博文  | 大学院医学系研究科    | 1,900,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 小麦胚芽蛋白質合成系を活用したレジスチン特異抗体の作成と全自動測定システムの開発     | 西田 亙   | 大学院医学系研究科    | 1,100,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 自律神経系機能と循環器疾患とのコホート研究                        | 谷川 武   | 大学院医学系研究科    | 100,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 自律神経系機能と循環器疾患とのコホート研究                        | 斉藤 功   | 大学院医学系研究科    | 100,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| インターロイキン18とオステオポンチンの相互作用と腎線維化に関する役割解明        | 大蔵 隆文  | 大学院医学系研究科    | 700,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| DNAメチル化修飾を統合したレジスチン遺伝子発現制御因子の網羅的解析           | 大沼 裕   | 大学院医学系研究科    | 1,100,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 熱性痙攣重積後の内側側頭葉てんかん発症の病態解明と新たな予防戦略の開発          | 福田 光成  | 医学部附属病院      | 1,300,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| MLL融合蛋白による腫瘍化過程の解明と新規治療法の開発                  | 江口 真理子 | 医学部附属病院      | 1,000,000  | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |



|  |       |           |           |    |               |
|--|-------|-----------|-----------|----|---------------|
| TEL-AML1陽性白血病発症の分子機構の解明と分子標的療法の開発        | 江口 峰斉 | 医学部附属病院   | 1,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 先天性心疾患の責任遺伝子の同定と心臓幹細胞を用いた機能解析            | 桧垣 高史 | 医学部附属病院   | 900,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| IL-22Rを強発現した三次元培養皮膚を免疫不全マウスに移植した乾癬モデルの開発 | 藤山 幹子 | 医学部附属病院   | 1,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 虚血性心疾患診断におけるシネタギングとファーストパス心筋血流MRIの有用性の検討 | 望月 輝一 | 大学院医学系研究科 | 50,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 臓器移植における抗体関連型拒絶反応の機序解明と制御に関する研究          | 渡邊 常太 | 大学院医学系研究科 | 700,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 脳梗塞後遺症・神経変性疾患における骨髄ストローマ細胞を用いた脳保護作用の検討   | 茂木 正樹 | 大学院医学系研究科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 免疫反応を調節する制御性T細胞の脳虚血に対する保護機構              | 阪中 雅広 | 大学院医学系研究科 | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 二分脊椎モデルの運動障害に関する基礎的研究                    | 松田 正司 | 大学院医学系研究科 | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| RNA解析による顔面神経麻痺の超早期予後診断法の開発ー表情筋針生検材料を用いてー | 羽藤 直人 | 大学院医学系研究科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| FGF7 signalへの性ホルモンの作用とドライアイへの応用          | 林 康人  | 大学院医学系研究科 | 1,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 膜結合型増殖因子の分子機構:リンパ浮腫治療戦略の創成               | 中岡 啓喜 | 医学部附属病院   | 1,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 低体温療法時の合併症に対する防止法の開発                     | 相引 眞幸 | 大学院医学系研究科 | 1,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 二次元映像に奥行き知覚を与える新しい体腔内照明デバイスによる内視鏡外科手術の開発 | 高田 泰次 | 大学院医学系研究科 | 500,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 全身老化指標としての血管老化                           | 小原 克彦 | 大学院医学系研究科 | 900,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ノブバイオームマウスを用いた腸管皮膚細菌フローラ誘導Th17細胞による乾癬の発症 | 佐山 浩二 | 大学院医学系研究科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 虚血機序に基づく内耳障害の治療戦略ーナノカプセル型人工酸素運搬体の検討      | 暁 清文  | 大学院医学系研究科 | 500,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 動脈硬化巣形成における造血幹細胞とトロンビン切断型オステオポンチンの役割     | 倉田 美恵 | 大学院医学系研究科 | 900,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| マクロファージの分化/機能におけるアンジオテンシンII型受容体の役割       | 鈴木 純  | 大学院医学系研究科 | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| Aurora-Aを標的とした包括的がん免疫療法の開発               | 越智 俊元 | 医学部附属病院   | 800,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ダイナミック256列CTを用いた心筋血流絶対値測定の精度の検証          | 城戸 輝仁 | 大学院医学系研究科 | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| マウス表皮細胞から角膜上皮細胞への形質転換に関わる因子の検討           | 小林 剛  | 大学院医学系研究科 | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 口腔癌におけるSTATシグナル関連蛋白の網羅的解析と新規治療法への応用      | 石川 詔子 | 大学院医学系研究科 | 1,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 新規遺伝子増幅法による口腔癌センチネルリンパ節の術中転移診断法の確立       | 合田 啓之 | 医学部附属病院   | 1,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| マラリア原虫のベクター適応機構の解明                       | 新澤 直明 | 大学院医学系研究科 | 1,160,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| サルコペニック肥満の病態解明に関する研究                     | 小原 克彦 | 大学院医学系研究科 | 6,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 骨リモデリング機構解明のための革新的蛍光イメージングシステムの開発        | 今村 健志 | 大学院医学系研究科 | 5,400,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |

|  |        |           |           |    |               |
|--|--------|-----------|-----------|----|---------------|
| 交流磁場を用いた舌癌の低侵襲焼灼治療システムの確立                | 渡部 祐司  | 大学院医学系研究科 | 300,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 神経栄養因子を用いた嚥下関与筋のアンチエイジングに関する研究           | 田口 亜紀  | 大学院医学系研究科 | 2,800,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 認知症高齢者自らが語る終末期ケアと暮らしを支援するテラロードモデルの構築     | 谷向 知   | 大学院医学系研究科 | 100,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| レジスチンによる免疫機構の変化を介した糖尿病発症メカニズムの解明と発症予知    | 高田 康徳  | 医学部附属病院   | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 地域における循環器疾患対策のための新たな評価モデルの構築             | 斉藤 功   | 大学院医学系研究科 | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 伝統薬物成分の紫外線による光化学療法および発癌抑制とその作用機構         | 木村 善行  | 大学院医学系研究科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 自己免疫性肺炎におけるBAFF, APRILの臨床的有用性についての検討     | 熊木 天児  | 大学院医学系研究科 | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 特発性心筋症における網羅的遺伝子解析による心血管事故リスク層別化の検討      | 大木元 明義 | 医学部附属病院   | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| オーロラAキナーゼを標的とした成人T細胞白血病に対する新たな包括的治療戦略    | 東 太地   | 医学部附属病院   | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 血小板アポトーシス反応の生理的役割と臨床的意義                  | 羽藤 高明  | 医学部附属病院   | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 脱髄疾患に対するケトン食療法の新たな応用—ケトン体の神経保護作用機序の解明—   | 鈴木 由香  | 大学院医学系研究科 | 1,300,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ヒト化動物モデルを用いた難治性EBウイルス感染症の免疫治療に関する研究      | 田内 久道  | 医学部附属病院   | 1,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 間歇型一酸化炭素中毒モデルの作成と解析研究                    | 福原 竜治  | 医学部附属病院   | 1,800,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 認知症でみられる作話・取り繕い、妄想の客観的臨床指標の作成とバイオマーカーの確立 | 谷向 知   | 大学院医学系研究科 | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 生理学的な血流シミュレーションシステムに基づく小児複雑心奇形手術の術式最適化計画 | 鹿田 文昭  | 医学部附属病院   | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 心停止ドナーからの胚移植後の虚血再灌流障害の機序解明と抑制            | 岡崎 幹生  | 医学部附属病院   | 1,900,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 浸潤細胞を使って脳梗塞を治す                           | 久門 良明  | 大学院医学系研究科 | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 幼若骨髄単核球移植による、老齢マウスでの脳虚血保護効果              | 秦 龍二   | 大学院医学系研究科 | 2,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ナトリウムイオン/プロトン交換輸送体1抑制による神経膠腫細胞浸潤制御       | 矢野 元   | 大学院医学系研究科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| BDNF遺伝子を過剰発現させた自家マクロファージ硬膜内注入による脊髄損傷の治療  | 尾形 直則  | 医学部附属病院   | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 移植骨の生着を促進する再置換人工関節近傍の周辺環境設計              | 間島 直彦  | 大学院医学系研究科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| スパン80ベシクルによるDDSを用いた骨腫瘍に対するカフェイン療法の開発     | 木谷 彰岐  | 医学部附属病院   | 2,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ポリマー多重加工オンコリティックアデノウイルスによる卵巣癌特異的遺伝子治療法開発 | 濱田 雄行  | 医学部附属病院   | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 神経幹細胞による虚血性内耳障害抑制効果の機序解明の研究              | 白馬 伸洋  | 医学部附属病院   | 1,400,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| マウス角膜上皮幹細胞マーカー同定の試み                      | 白石 敦   | 大学院医学系研究科 | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ケラチン12遺伝子発現のメカニズム解析                      | 大橋 裕一  | 大学院医学系研究科 | 1,100,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |

|   |        |              |           |    |               |
|---|--------|--------------|-----------|----|---------------|
| ホルモンレセプターをターゲットにした悪性唾液腺腫瘍の新規治療法の開発        | 住田 知樹  | 医学部附属病院      | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 抗精神病薬に依存しない認知症高齢者ケアを促進するためのケア・プロトコルの作成    | 谷向 知   | 大学院医学系研究科    | 65,000    | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 革新的インビボEMTイメージングシステムの開発とがん転移機構の解明         | 今村 健志  | 大学院医学系研究科    | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 常温遺伝子増幅によるメチル化シトシンin situ検出法の開発           | 北澤 荘平  | 大学院医学系研究科    | 900,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 警察官における睡眠呼吸障害の実態と客観的指標を用いた注意力に関する疫学研究     | 谷川 武   | 大学院医学系研究科    | 2,100,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 高齢者の慢性炎症と貧血に関する疫学研究ー鉄代謝障害を中心としてー          | 満田 憲昭  | 大学院医学系研究科    | 1,300,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 老年者フレイルティーの新しい評価指標としての立位動揺性               | 三木 哲郎  | プロテオ医学研究センター | 900,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 可溶性T細胞レセプター修飾分子を用いた革新的がん治療法の開発            | 安川 正貴  | 大学院医学系研究科    | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| DNAチップを用いた間歇型一酸化中毒への進展を予測する指標作成のための研究     | 上野 修一  | 大学院医学系研究科    | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 重症脳傷害治療のために病巣核心部に移植すべき細胞種を決定する            | 田中 潤也  | プロテオ医学研究センター | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 人工関節に適した金属の研磨技術の開発                        | 三浦 裕正  | 大学院医学系研究科    | 100,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| アカントアメーバの角膜への感染機序の解明                      | 坂根 由梨  | 医学部附属病院      | 2,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 口腔癌における分泌型microRNAの発現と機能                  | 浜川 裕之  | 大学院医学系研究科    | 1,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| トランス脂肪酸が肝臓での発癌、抗原特異的な免疫機能に与える影響の解明        | 三宅 映己  | 大学院医学系研究科    | 2,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 胎児性上皮組織『総排泄腔』に着目した泌尿生殖系平滑筋成分の発生研究         | 原口 竜摩  | 大学院医学系研究科    | 1,500,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 睡眠呼吸障害が糖尿病患者のうつ症状に及ぼす影響に関する多施設共同疫学研究      | 古川 慎哉  | 医学部附属病院      | 2,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 急性腎障害におけるトロンビン切断型オステオポンチンの役割と抑制効果の解明      | 入田 純   | 医学部附属病院      | 2,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 皮膚構成細胞に対するLEDの作用メカニズムの解析                  | 宮脇 さおり | 医学部附属病院      | 1,200,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 脂腺細胞の新規分泌膜小胞セボゾームの生成、分泌機構の解明              | 永井 彩子  | 医学部附属病院      | 2,100,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 定型発達児ならびに発達障害児の不眠に対する認知行動療法的アプローチ法の開発     | 堀内 史枝  | 医学部附属病院      | 2,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 磁力を用いた新たな温熱化学療法の開発                        | 山本 祐司  | 医学部附属病院      | 1,000,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| ES細胞由来神経幹細胞を用いた、虚血性難聴に対する革新的な再生療法の開発      | 高木 太郎  | 医学部附属病院      | 1,600,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 口腔癌術後補助療法における樹状細胞ワクチン療法の有用性に関する検討         | 田野 智之  | 医学部附属病院      | 2,700,000 | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 慢性閉塞性肺疾患の成因に關与する異性化アスパラギン含有蛋白とその修復酵素の解析   | 小笠原 正人 | 大学院医学系研究科    | 300,000   | 補委 | 文部科学省科学研究費助成金 |
| 多目的コホートに基づくがん予防など健康の維持・増進に役立つエビデンスの構築に関する | 斉藤 功   | 大学院医学系研究科    | 3,000,000 | 補委 | 厚生労働省がん研究助成金  |
| 造血器腫瘍に対するがんペプチドワクチン療法の開発                  | 安川 正貴  | 大学院医学系研究科    | 1,200,000 | 補委 | 厚生労働省がん研究助成金  |

|  |        |                  |            |    |               |
|--|--------|------------------|------------|----|---------------|
| 肉腫及び膠芽腫等の難治性がんに対する(個別化)がんワクチン療法等の確立        | 安川 正貴  | 大学院医学系研究科        | 2,000,000  | 補委 | 厚生労働省がん研究助成金  |
| 神経変性疾患に関する調査研究                             | 野元 正弘  | 大学院医学系研究科        | 1,300,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究                          | 白方 裕司  | 大学院医学系研究科        | 1,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| テーラーメイド型運動器デバイスの技術開発および探索的臨床応用研究           | 住田 知樹  | 医学部附属病院          | 2,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 自家培養口腔粘膜上皮シート移植による角膜上皮再生治療法の新施設共同臨床試験      | 大橋 裕一  | 大学院医学系研究科        | 6,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| かかりつけ医のための認知症の識別診断と疾患別治療に関する研究             | 福原 竜治  | 医学部附属病院          | 1,600,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 新型薬剤耐性菌等に関する研究                             | 土手 健太郎 | 医学部附属病院          | 1,300,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 内耳薬物投与システムを応用した感音難聴、耳鳴り治療技術の臨床応用           | 暁 清文   | 大学院医学系研究科        | 850,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 難聴者自立支援のための埋め込み型骨導補聴器の開発                   | 羽藤 直人  | 大学院医学系研究科        | 12,071,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 放射線による認知機能障害を回避する転移性脳腫瘍の治療法に関する研究          | 大西 丘倫  | 大学院医学系研究科        | 150,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 離島・農村地域における効果的な生活習慣病対策の運用と展開に関する研究         | 谷川 武   | 大学院医学系研究科        | 400,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究                    | 高田 清式  | 医学部附属病院          | 2,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 肝がんの新規治療法に関する研究                            | 恩地 森一  | 大学院医学系研究科        | 2,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| グローバル早期臨床試験を推進するための大学病院ネットワークの中核としての基盤整備   | 野元 正弘  | 大学院医学系研究科        | 10,000,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 治療抵抗性統合失調症に対する抑肝散の有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検ラン   | 上野 修一  | 大学院医学系研究科        | 1,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 病院内の連携構築に係る病院管理マネジメントに関する研究                | 櫃本 真幸  | 医学部附属病院          | 200,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 重症多形滲出性紅斑に関する調査研究                          | 橋本 公二  | 先端研究・学術推進機構学術企画室 | 4,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| ウエルナー症候群の病態把握、診療指針作成と新規治療法の開発を目的とした全国研究    | 三木 哲郎  | プロテオ医学研究センター     | 500,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 心電図健診による長期にわたる疫学研究:Brugada(ブルガダ)症候群の長期予後研究 | 谷川 武   | 大学院医学系研究科        | 500,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 乳児ランゲルハンス細胞組織球症の標準治療の確立と新規治療法の開発           | 石井 榮一  | 大学院医学系研究科        | 1,100,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 先天性好中球減少症の効果的診断方法の確立と治療ガイドライン              | 石井 榮一  | 大学院医学系研究科        | 700,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| Fuchs角膜内皮変性症および関連疾患に関する調査研究                | 大橋 裕一  | 大学院医学系研究科        | 700,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 睡眠呼吸障害による生活習慣病に関する医療情報提供とその効果の評価           | 谷川 武   | 大学院医学系研究科        | 4,550,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 特定健診・保健指導におけるメタリックの診断管理のエビデンス創出に関する横断縦断研究  | 斉藤 功   | 大学院医学系研究科        | 1,150,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| ウイルス性肝炎における最新の治療法の標準化を目指す事業                | 日浅 陽一  | 大学院医学系研究科        | 2,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| アcantアメーバ角膜炎制御におけるレンズケアの重要性                | 大橋 裕一  | 大学院医学系研究科        | 6,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |

|  |       |           |            |    |               |
|--|-------|-----------|------------|----|---------------|
| 寄生虫疾患の病態解明及びその予防・治療をめざした研究                               | 鳥居 本美 | 大学院医学系研究科 | 400,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 前庭水管拡大症の臨床所見と遺伝子変異解析に基づく新診断基準作成                          | 暁 清文  | 大学院医学系研究科 | 700,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究                     | 長櫓 巧  | 大学院医学系研究科 | 900,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 難治性血管炎に関する調査研究   | 長谷川 均 | 大学院医学系研究科 | 890,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 先天性顆粒放出異常症の病態解明と診断法の確立                                   | 石井 榮一 | 大学院医学系研究科 | 10,000,000 | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 先天性顆粒放出異常症の病態解明と診断法の確立                                   | 安川 正貴 | 大学院医学系研究科 | 2,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 急性高度難聴に関する調査研究   | 暁 清文  | 大学院医学系研究科 | 800,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究                                       | 恩地 森一 | 大学院医学系研究科 | 3,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 偽落屑角膜内皮症の実態把握と診断基準確立のための研究                               | 大橋 裕一 | 大学院医学系研究科 | 5,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| GJB2変異による劣性遺伝難聴の全国的実態把握                                  | 暁 清文  | 大学院医学系研究科 | 200,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 自己免疫性リンパ球増殖症候群(ALPS)およびその類縁疾患の実態調査および病態病因解析              | 石井 榮一 | 大学院医学系研究科 | 200,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 特発性角膜内皮炎の診断および治療方針の確立に関する研究                              | 大橋 裕一 | 大学院医学系研究科 | 1,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 遺伝子修復異常症(Bloom症候群、Rothmund-Thomson症候群、RAPADILINO症候群、Ball | 田内 久道 | 大学院医学系研究科 | 500,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 特発性周辺部角膜腫瘍の診断および治療に関する研究                                 | 大橋 裕一 | 大学院医学系研究科 | 1,000,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 慢性ウイルス性肝炎の非侵襲的線化評価法の開発と臨床的有用性の確立                         | 日浅 陽一 | 大学院医学系研究科 | 400,000    | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 次世代遺伝子解析技術を用いた希少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究                   | 野元 正弘 | 大学院医学系研究科 | 2,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |
| 次世代遺伝子解析技術を用いた希少難治性疾患の原因究明及び病態解明に関する研究                   | 永井 将弘 | 大学院医学系研究科 | 2,500,000  | 補委 | 厚生労働省科学研究費補助金 |

小計17

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

計171

## 2 論文発表等の実績

| 雑誌名                         | 題名  | 発表者氏名         | 所属部門    |
|-----------------------------|---|---------------|---------|
| Blood                       | Novel adoptive T-cell immunotherapy using a WT1-specific TCR vector encoding silencers for endogenous TCRs shows marked anti-leukemia reactivity and safety.            | Ochi T.       | 第一内科    |
| Int J Hematol.              | Impairment of protein C secretion in protein C-deficient patients carrying an Asp297 mutation.  | Yamanouchi J. | 第一内科    |
| Biochem Biophys Res Commun. | Lysophosphatidylcholine enhances the suppressive function of human naturally occurring regulatory T cells through TGF- $\beta$ production.                              | Hasegawa H.   | 生体統御内科学 |
| Platelets                   | Vasodilator-stimulated phosphoprotein(VASP) phosphorylation assay for platelet response to cilostazol.  | Yamanouchi J. | 第一内科    |
| Int J Clin Oncol.           | Usage of granulocyte colony-stimulating factor every 2 days is clinically useful and cost-effective for febril neutropenia during early courses of chemotherapy.        | Yakushijin Y. | 腫瘍センター  |
| Int J Hematol.              | Activation of T-cell receptor signaling in peripheral T-cell lymphoma cells plays an important role in the development of lymphoma-associated hemophagocytosis.         | Fujiwara H.   | 第一内科    |
| Am J Physiol Renal Physiol  | Osteopontin deficiency protects against aldosterone-induced inflammation, oxidative stress, and interstitial fibrosis in the kidney.                                    | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |
| J Hum Hypertens             | Angiotensin II receptor blockade with valsartan decreases plasma osteopontin levels in patients with essential hypertension   | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |
| J Hypertens                 | Prevention of cardiovascular events with calcium channel blocker-based combination therapies in patients with hypertension: a randomized controlled trial               | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |
| Eur J Ecocardiogr           | Coronary steal detected by transthoracic Doppler echocardiography   | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |
| Circ J                      | Right ventricular septal pacing preserves global left ventricular longitudinal function in comparison with apical pacing: analysis of speckle tracking echocardiography | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |
| J Cardiol                   | Risk for atrial fibrillation in patients with hypertrophic cardiomyopathy: association with insulin resistance  | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |
| J Hypertens                 | Role of angiotensin-converting enzyme 2 in cardiac hypertrophy induced by nitric oxide synthase inhibition  | 檜垣實男          | 病態情報内科学 |

|                                   |   |            |           |
|-----------------------------------|---|------------|-----------|
| J Cardiol                         | Direct measurement of radial strain in the inner-half layer of the left ventricular wall in hypertensive patients   | 檜垣實男       | 病態情報内科学   |
| Am J Hypertens                    | Temporary treatment with AT1 receptor blocker, valsartan, from early stage of hypertension prevented vascular remodeling  | 檜垣實男       | 病態情報内科学   |
| Int J Cardiol                     | Usefulness of the MOSAIC (measurement of stenosis by aliasing coronary flow) method using transthoracic color Doppler echocardiography in unstable angina patients                                | 檜垣實男       | 病態情報内科学   |
| Journal of Gastroenterology 46(9) | Present status of autoimmune hepatitis in Japan.  | 阿部 雅則      | 先端病態制御内科学 |
| Am J Roentgenol 196(6)            | Hepatic elasticity in patients with ascites.  | 廣岡 昌史      | 先端病態制御内科学 |
| Radiology 261(3)                  | Splenic elasticity measured by real-time tissue elastography is a marker of portal hypertension.  | 廣岡 昌史      | 先端病態制御内科学 |
| Regul Pept 166(1-3)               | Mutational analysis of predicted extracellular domains of human growth hormone secretagogue receptor 1a.  | 上田 晃久      | 先端病態制御内科学 |
| Obesity 19(10)                    | B Cell-Activating Factor Controls the Production of Adipokines and Induces Insulin Resistance.  | 濱田 麻穂      | 先端病態制御内科学 |
| Hepato Res 41(4)                  | Biochemical response to ursodeoxycholic acid predicts long-term outcome in Japanese patients with primarybiliary cirrhosis.   | 畔元 信明      | 先端病態制御内科学 |
| Exp Cell Res 317(13)              | ZNF689 suppresses apoptosis of hepatocellular carcinoma cells through the down-regulation of Bcl-2 members.   | 重松 秀一郎     | 先端病態制御内科学 |
| Pancreas 40(6)                    | Clinical Significance of B-Cell-Activating Factor in Autoimmune Pancreatitis.   | 山西 浩文      | 先端病態制御内科学 |
| Radiology 258(2)                  | Liver fibrosis in Patients with Chronic Hepatitis C:Noninvasive diagnosis of liver fibrosis in patients with chronic hepatitis C by real-time tissue elastography:Establishment of the method for | 小泉 洋平      | 先端病態制御内科学 |
| Clin Expe Immunol 166(1)          | Immune suppressive functions of hepatic myeloid-derived suppressor cells of normal mice and in a murine model of chronic hepatitis B virus.   | Chen Shiyi | 先端病態制御内科学 |
| Ther Adv Cardiovasc Dis           | Attenuation of Hypertension-mediated Glomerulosis in Conjunction with Increased Angiotensin-(1-7)   | Igase M    | 加齢制御内科学   |

|                                      |  |                  |           |
|--------------------------------------|--|------------------|-----------|
| PLOS ONE                             | Leptin in sarcopenic visceral obesity: Possible link between adipocytes and myocytes   | Kohara K         | 加齢制御内科学   |
| Journal of the Neurological Sciences | Brain natriuretic peptide is a marker associated with thrombus in stroke patients with atrial fibrillation   | Okada Y          | 加齢制御内科学   |
| Journal Hypertension                 | Relatively lower central aortic pressure in patients with impaired insulin sensitivity and resistance: the Toon Health Study   | Tabara Y         | 統合医科学     |
| Metabolism 60                        | Genotype risk score of common susceptible variants for type 2 diabetes mellitus in Japanese: the Shimanami Health Promoting Program (J-SHIP) study Development of type 2 diabetes mellitus and genotype risk score | Tabara Y         | 統合医科学     |
| Therapeutic Research                 | 脳卒中予防におけるLDLコレステロール/HDLコレステロール比の予測   | 伊賀瀬道也            | 加齢制御内科学   |
| BRAIN RESEARCH                       | Zonisamide-induced long-lasting recovery of dopaminergic neurons from MPTP-toxicity  | Masahiro Nomoto  | 薬物療法・神経内科 |
| INTERNAL MEDICINE                    | Three Spinocerebellar Ataxia Type 2 Siblings with Ataxia, Parkinsonism, and Motor Neuronopathy   | Noriko Nishikawa | 薬物療法・神経内科 |
| Brain and Behavior                   | A cytokine mixture of GM-CSF and IL-3 that induces a neuroprotective phenotype of microglia leading to amelioration of (6-OHDA)-induced Parkinsonism of rats   | Masahiro Nomoto  | 薬物療法・神経内科 |
| 臨床薬理                                 | 薬剤承認用量, 使用量の国際的相違  | 永井将弘             | 薬物療法・神経内科 |
| 臨床評価                                 | 用量の地域差について   | 野元正弘             | 薬物療法・神経内科 |
| 臨床薬理                                 | 病態時薬物動態試験の現状と課題  | 野元正弘             | 薬物療法・神経内科 |
| 臨床評価                                 | マイアミ大学のPhase I Unitについて  | 野元正弘             | 薬物療法・神経内科 |
| 神経治療                                 | 標準的神経治療: 本態性振戦 IV 治療: 薬物療法   | 永井将弘             | 薬物療法・神経内科 |
| 神経治療学                                | 経口摂取不可時のParkinson病治療薬の検討   | 西川典子             | 薬物療法・神経内科 |



|                                     |  |            |               |
|-------------------------------------|--|------------|---------------|
| BMC Neurology                       | Phenotypical difference of Amyloid Precursor Protein (APP) V717L mutation in Japanese family   | 安部 賢郎      | 精神科           |
| INTERNATIONAL JOURNAL OF ONCOLOGY   | Feasibility of tailored, selective and effective anticancer chemotherapy by direct injection of docetaxel-loaded immunoliposomes into Her2/neu positive gastric tumor xenografts                                   | 山本 祐司      | 消化器腫瘍外科       |
| 日本消化器病学会雑誌                          | 粘膜下腫瘍の形態を呈したS状結腸粘液癌の1例   | 佐藤 公一      | 消化器腫瘍外科       |
| 消化器外科                               | 肝移植のトピックス:特集「肝細胞がん診療のトピックス」  | 高田 泰次      | 肝胆膵・移植外科学     |
| 愛媛医学                                | Cap polyposis様所見を呈した隆起型MPSの1切除例  | 串畑 史樹      | 肝胆膵・移植外科学     |
| 外科                                  | 胆嚢摘出術(腹腔鏡下胆嚢摘出術)   | 藤山 泰二      | 肝胆膵・移植外科学     |
| Brain Res                           | Transient ischemia-induced paresis and complete paraplegia displayed distinct reactions of microglia and macrophages   | 泉谷裕則       | 心臓血管呼吸器・再生外科学 |
| Tohoku J Exp Med                    | Effective long-term surgical management of congenital coronary artery fistulas   | 岡村 達       | 心臓血管呼吸器・再生外科学 |
| Tohoku J Exp Med                    | Pulmonary artery banding for neonates and early infants with low body weight   | 岡村 達       | 心臓血管呼吸器・再生外科学 |
| Neurosurgery                        | Accuracy of diffusion tensor magnetic resonance imaging-based tractography for surgery of gliomas near the pyramidal tract: a significant correlation between subcortical electrical stimulation and postoperative | 大上史朗       | 脳神経外科         |
| Neurosurg Review                    | Preauricular transzygomatic anterior infratemporal fossa approach for tumors in or around infratemporal fossa lesions.   | 大上史朗       | 脳神経外科         |
| Int J Mol Med.                      | Fibronectin regulates proteoglycan production balance in transforming growth factor- $\beta$ 1-induced chondrogenesis.   | Kutsuna T  | 運動器学          |
| Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc | The anterior trochlear line as a reference for femoral component positioning in total knee arthroplasty.   | Morizane K | 運動器学          |
| J. Spine Res.                       | Intrathecal injected proenkephalin-gene transferred autologous macrophages migrated into the spinal cord and ameliorated neuropathic pain.   | Ogata T    | 運動器学          |

|                                     |   |             |      |
|-------------------------------------|---|-------------|------|
| Neurosci Res                        | A novel thermoelectric cooling device using Peltier modules for inducing local hypothermia of the spinal cord: the effect of local electrically-controlled cooling for the treatment of spinal cord injuries in conscious | Morizane K  | 運動器学 |
| NeuroReport                         | p38 mitogen activated protein kinase inhibitor reduces neurocan production in cultured spinal cord astrocytes.  | Yamaoka G   | 運動器学 |
| Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc | Changes in patellar alignment after total knee arthroplasty.  | Fukagawa S  | 運動器学 |
| J Orthop Res                        | Anterior border of the tibia as a landmark for extramedullary alignment guide in total knee arthroplasty for varus knees.   | Fukagawa S  | 運動器学 |
| Am J Sports Med                     | Comparison of rotatory stability after anterior cruciate ligament reconstruction between single-bundle and double-bundle techniques.  | Izawa T     | 運動器学 |
| J Arthroplasty                      | Flexion contracture persists if the contracture is more than 15 degrees at 3 months after total knee arthroplasty.  | Mitsuyasu H | 運動器学 |
| J Allergy Clin Immunol              | Mite allergen is a danger signal for the skin via activation of the inflammasome in keratinocytes   | Dai X       | 皮膚科  |
| J Dermatol                          | Possible association of vascular endothelial growth factor with the development of edema in drug-induced hypersensitivity syndrome  | Hirakawa S  | 皮膚科  |
| Invest Ophthalmol Vis Sci.          | Anterior segment optical coherence tomography analysis of clinically unilateral pseudoexfoliation syndrome: evidence of bilateral involvement and morphologic factors related to asymmetry.                               | Zheng X     | 眼科   |
| J Ocul Pharmacol Ther.              | Clinical characteristics of keratitis due to olletotrichum gloeosporioides.   | Shiraishi A | 眼科   |
| Jpn J Ophthalmol.                   | Efficacy of commercial soft contact lens disinfectant solutions against Acanthamoeba.   | Kobayashi T | 眼科   |
| Arch Ophthalmol                     | Autologous fascia lata grafts for scleral repair in eyes with infectious necrotizing scleritis.   | Zheng X     | 眼科   |
| Clin Experiment Ophthalmol          | Diagnosis and clinical course of epithelial ingrowth after Descemet-stripping automated endothelial keratoplasty followed by in vivo confocal microscopy.   | Hara Y      | 眼科   |
| 臨床眼科                                | ドライアイに対する内服ピロカルピン塩酸塩の効果の検討  | 高野朋子        | 眼科   |

|                                     |  |                     |       |
|-------------------------------------|--|---------------------|-------|
| 臨床眼科                                | A型インフルエンザ罹患後に視神経炎症状のみを呈した急性散在性脳脊髄炎の1例  | 石川友佳子               | 眼科    |
| 日本コンタクトレンズ学会誌                       | ソフトコンタクトレンズケース汚染とケア状況  | 白石 教                | 眼科    |
| Auris Nasis Larynx                  | Clinical features and outcomes of four patients with invasive fungal sinusitis   | Hiroataka Takahashi | 耳鼻咽喉科 |
| The Journal of Trauma               | Facial Nerve Decompression Surgery in Patients With Temporal Bone Trauma: Analysis of 66 Cases   | Naohito Hato        | 耳鼻咽喉科 |
| 愛媛医学                                | 突発性難聴の臨床的検討ー予後因子についてー  | 岡田昌浩                | 耳鼻咽喉科 |
| Otol Jpn                            | パネルディスカッション2「Decision making in tympanoplasty」特集<br>鼓室形成術Ⅲrにより聴力改善を目指した鼓室硬化症例  | 羽藤直人                | 耳鼻咽喉科 |
| 専門医通信<br>107号                       | 音声障害の自覚的評価法:Voice Handicap Index (VHI)   | 田口亜紀                | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻咽喉科・頭頸部外科                         | 石灰沈着性頸長筋腱炎の3例  | 西田直哉                | 耳鼻咽喉科 |
| 耳鼻と臨床                               | 当科で施行しているラリリングマイクロサージェリー前後の音声治療  | 飴矢美里                | 耳鼻咽喉科 |
| Facial N Res Jpn                    | 再発性Hunt症候群の検討  | 能田淳平                | 耳鼻咽喉科 |
| Facial N Res Jpn                    | 筋硬度計を用いた顔面拘縮の客観的評価   | 飴矢美里                | 耳鼻咽喉科 |
| Audiology Japan                     | 抗加齢聴力ドック所見からみた加齢性難聴における動脈硬化の関与   | 三瀬和代                | 耳鼻咽喉科 |
| The journal of gene medicine.       | Intravenous injection of irradiated tumor cell vaccine carrying oncolytic adenovirus suppressed the growth of multiple lung tumors in a mouse squamous cell carcinoma model. | Hamada K            | 産婦人科  |
| Journal of reproductive immunology. | Identification of anti-syntaxin 5 autoantibody as a novel serum marker of endometriosis.   | Nabeta M            | 産婦人科  |

|  |   |                 |             |
|--|---|-----------------|-------------|
| International journal of clinical oncology / Japan Society of Clinical Oncology. | Long-term medroxyprogesterone acetate therapy for low-grade endometrial stromal sarcoma.  | Nawa A          | 産婦人科        |
| 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌   | 腹腔鏡下手術における子宮漿膜縫合トレーニング法の開発  | 那波明宏            | 産婦人科        |
| Hypertension   | Peroxisome proliferator-activated receptor- $\gamma$ activation with angiotensin II type 1 receptor blockade is pivotal for the prevention of blood-brain barrier impairment and cognitive decline in type 2 diabetic mice. | 茂木 正樹           | 分子心血管生物・薬理学 |
| J Am Soc Hypertens   | Angiotensin II type 2 receptor-interacting protein prevents vascular senescence.  | 関 莉娟            | 分子心血管生物・薬理学 |
| Hypertension   | Roles of interleukin 17 in angiotensin II type 1 receptor-mediated insulin resistance.  | 大島 弘世           | 分子心血管生物・薬理学 |
| J Cereb Blood Flow Metab   | Direct stimulation of angiotensin II type 2 receptor enhances spatial memory.   | 景 斐             | 分子心血管生物・薬理学 |
| J Hypertens  | Role of angiotensin-converting enzyme 2 in cardiac hypertrophy induced by nitric oxide synthase inhibition.   | 稲葉 慎二           | 内科学第二       |
| Hypertension   | Effect of angiotensin II type 2 receptor deletion in hematopoietic cells on brain ischemia-reperfusion injury.  | 岩波 純            | 分子心血管生物・薬理学 |
| J Renin Angiotensin Aldosterone Syst   | Improvement of cognitive impairment in female type 2 diabetes mellitus mice by spironolactone.  | 坂田 暁子           | 産婦人科        |
| Biochem Biophys Res Commun   | Irbesartan attenuates ischemic brain damage by inhibition of MCP-1/CCR2 signaling pathway beyond AT <sub>1</sub> receptor blockade.   | 佃 架奈            | 分子心血管生物・薬理学 |
| Hypertens Res  | Angiotensin II and aldosterone-induced neuronal damage in neurons through an astrocyte-dependent mechanism.   | 関 莉娟            | 分子心血管生物・薬理学 |
| Breast Cancer  | The roles of TGF- $\beta$ signaling in carcinogenesis and breast cancer metastasis.   | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター  |
| Eur J Cancer   | ZSTK474, a specific phosphatidylinositol 3-kinase inhibitor, induces G1 arrest of the cell cycle in vivo  | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター  |
| J Biol Chem  | RB1CC1 positively regulates transforming growth factor- $\beta$ signaling through the modulation of Arkadia E3 ubiquitin ligase activity  | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター  |

|                             |  |                 |            |
|-----------------------------|--|-----------------|------------|
| Blood.                      | HTLV-1 bZIP factor enhances TGF- $\beta$ signaling through p300 coactivator  | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター |
| J Biol Chem                 | Cell-type specific target selection by combinatorial binding of Smad2/3 and hepatocyte nuclear factor 4 $\alpha$ in HepG2 cells. | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター |
| J Bone Miner Res            | Regulation of RANKL-induced osteoclastogenesis by TGF- $\beta$ through molecular interaction between Smad3 and TRAF6.            | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター |
| J Biol Chem                 | Suppression of p53 Activity through the Cooperative Action of Ski and Histone Deacetylase SIRT1.                                 | Takeshi Imamura | 先端医療創生センター |
| Biochem Biophys Res Commun. | Detection of ER stress in vivo by Raman spectroscopy.  | Yusuke Oshima   | 先端医療創生センター |

小計5

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)

計102

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

|         |   |
|---------|---|
| 管理責任者氏名 | 病院長 檜垣 實男   |
| 管理担当者氏名 | 放射線部長・ME機器センター長 望月 輝一、薬剤部 荒木 博陽、<br>医療情報部長 石原 謙、看護部長 田淵 典子、総務課長 源 憲治、<br>人事労務課長 池内 浩二、医事課長 藤田 義和、<br>医療サービス課長 大西 正輝、経営管理課長 池田 政昭、<br>研究協力課長 佐々木 昇 |

|  |  | 保管場所                                       | 管理方法  |
|--|--|--|---|
| 診療に関する諸記録<br>病院日誌、各科診療日誌、処方せん、<br>手術記録、看護記録、検査所見記録、<br>エックス線写真、紹介状、退院した患<br>者に係る入院期間中の診療経過の要約<br>及び入院診療計画書                 |  | 各診療科<br>薬剤部<br>看護部<br>放射線部<br>医療情報部<br>医事課 | エックス線写真は集中管理<br>(放射線部)<br>カルテは医療情報部で一括保管<br>(1患者1カルテ) |
| 病院の管理<br>及び運営に<br>関する諸記<br>録   | 従業者数を明らかにする帳<br>簿  | 人事労務課                                      |   |
|  | 高度の医療の提供の実績  | 医事課  |   |
|  | 高度の医療技術の開発及び<br>評価の実績                                      | 研究協力課                                      |   |
|  | 高度の医療の研修の実績  | 人事労務課                                      |   |
|  | 閲覧実績   | 総務課  |   |
|  | 紹介患者に対する医療提供<br>の実績  | 医事課  |   |
| 入院患者、外来患者及び<br>調剤の数を明らかにする帳<br>簿   | 医事課<br>薬剤部   |  |   |
| 第規<br>一則<br>号第<br>一<br>掲条<br>の<br>十<br>体<br>一<br>制第<br>一<br>確<br>保各<br>の号<br>状及<br>び<br>第九<br>条の<br>二<br>十三<br>第<br>一<br>項 | 医療に係る安全管理<br>のための指針の整備状<br>況                               | 医療サービス課                                    |   |
|  | 医療に係る安全管理<br>のための委員会の開催<br>状況                              | 医療サービス課                                    |   |
|  | 医療に係る安全管理<br>のための職員研修の実<br>施状況                             | 医療サービス課                                    |   |
|  | 医療機関内における<br>事故報告等の医療に係<br>る安全の確保を目的と<br>した改善のための方策<br>の状況 | 医療サービス課                                    |   |
|  | 専任の医療に係る安<br>全管理を行う者の配置<br>状況                              | 医療サービス課                                    |   |
|  | 専任の院内感染対策<br>を行う者の配置状況                                     | 医療サービス課                                    |   |
|  | 医療に係る安全管理<br>を行う部門の設置状況                                    | 医療サービス課                                    |   |
|  | 当該病院内に患者から<br>の安全管理に係る相談<br>に適切に応じる体制の<br>確保状況             | 医療サービス課                                    |   |

|                  |   | 保管場所  | 分類方法     |
|------------------|---|---|----------|
| 病院の管理及び運営に関する諸記録 | 規則  | 院内感染のための指針の策定状況                                       | 医療サービス課  |
|                  | 第一条   | 院内感染対策のための委員会の開催状況                                    | 医療サービス課  |
|                  | 第十一条  | 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況                              | 医療サービス課  |
|                  | 第一項各号及び第九條の二十三  | 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況           | 医療サービス課  |
|                  | 第一項第一号に掲げる体制の確保の状況                                      | 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況                            | 薬剤部      |
|                  |   | 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況                            | 薬剤部      |
|                  |   | 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況            | 薬剤部      |
|                  |   | 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | 薬剤部      |
|                  |   | 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況                                 | ME機器センター |
|                  |   | 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況                           | ME機器センター |
|                  | 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況                           | ME機器センター  |          |
|                  | 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 | ME機器センター  |          |

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

|             |            |
|-------------|------------|
| 閲覧責任者氏名     | 運営部長 越智 郁夫 |
| 閲覧担当者氏名     | 総務課長 源 憲治  |
| 閲覧の求めに応じる場所 | 総務課        |

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

|           |        |   |     |
|-----------|--------|---|-----|
| 前年度の総閲覧件数 | 延      | 0 | 件   |
| 閲覧者別      | 医師     | 延 | 0 件 |
|           | 歯科医師   | 延 | 0 件 |
|           | 国      | 延 | 0 件 |
|           | 地方公共団体 | 延 | 0 件 |

○紹介患者に対する医療提供の実績

|      |                        |         |                         |
|------|------------------------|---------|-------------------------|
| 紹介率  | 82.9%                  | 算定期間    | 平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日 |
| 算出根拠 | A: 紹介患者の数              | 11,630人 |                         |
|      | B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数  | 8,023人  |                         |
|      | C: 救急用自動車によって搬入された患者の数 | 282人    |                         |
|      | D: 初診の患者の数             | 16,013人 |                         |

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。



(様式第 13-2)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号及び第 9 条の 23 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

|   |           |
|---|-----------|
| ① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況  | 有 無       |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <p>(1) 患者中心の医療の実践<br/> (2) 医療安全に関する組織的取り組み<br/> (3) インシデントの報告と情報の共有<br/> (4) 機能する医療事故防止対策<br/> (5) 適切な医療事故への対応<br/> (6) 患者相談の実施，指針等の閲覧<br/> (7) 医療安全教育・研修，啓発<br/> (8) 医療安全管理マニュアルの作成・更新</p>   |           |
| ② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況   | 年 11 回    |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療に係る安全管理のための指針の策定及び変更に関すること。<br/> (2) 医療事故防止対策の検討及び研究に関すること。<br/> (3) インシデントの分析及び再発防止策の検討に関すること。<br/> (4) 医療事故防止のための啓発，教育及び研修に関すること。<br/> (5) 医療事故に対する対応策の策定に関すること。<br/> (6) 患者及び家族等の被害者への対応に関すること。<br/> (7) 関係公的機関への報告に関すること。<br/> (8) 報道に関すること。<br/> (9) その他，医療の安全管理及び医療事故対策に関すること。</p> |           |
| ③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況  | 年 2 回     |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回医療安全に関する講演会（医療安全の基本的な考え方）<br/> 第 2 回医療安全に関する講演会<br/> （コミュニケーション不足に関するリスクマネジメントの方法）<br/> 上記の講演会欠席者に対してはDVD上映会及びDVD回覧を実施している。</p>   |           |
| ④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況  |           |
| <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>(1) 会議等でのインシデント報告内容の検討，根本原因の把握，改善内容の確認及び以上の情報共有<br/> (2) 医療安全管理部で年間活動目標立案，実施<br/> (3) 医療安全のための現場確認ラウンド実施<br/> (4) 医療安全に関する講演会を実施し，職員の教育，啓発を実施</p>   |           |
| ⑤ 専任（専従を含む）の医療に係る安全管理を行う者の配置状況  | 有（ 2 名）・無 |
| ⑥ 専任（専従を含む）の院内感染対策を行う者の配置状況   | 有（ 4 名）・無 |

|   |     |
|---|-----|
| ⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況   | 有・無 |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専従・専任（ 2 ）名 兼任（ 22 ）名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 報告のあったインシデントのモニタリング，分析及び影響レベルの判定に関する事。</li> <li>(2) インシデント審議委員会及びインシデント調査委員会に関する事。</li> <li>(3) インシデントごとの解決策及び再発防止策の企画・立案に関する事。</li> <li>(4) 医療安全体制システム及びマニュアルの見直しに関する事。</li> <li>(5) 医療安全管理委員会等で決定した事項についての周知の確認及びそれに必要な指導に関する事。</li> <li>(6) 安全管理に関する教育・研修等の実施に関する事。</li> <li>(7) 医療安全管理委員会の資料及び議事録の作成・保存等の運営に関する事。</li> <li>(8) 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされている事の確認及び必要な指導に関する事。</li> <li>(9) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認及び必要な指導に関する事。</li> <li>(10) 事故等の原因究明が適切に実施されている事の確認及び必要な指導に関する事。</li> <li>(11) 他の委員会，患者相談窓口等他部門及びリスクマネージャー等との連絡調整に関する事。</li> <li>(12) 医療事故防止等に係る情報提供に関する事。</li> </ul> </li> </ul> |     |
| ⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況  | 有・無 |

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

|   |         |
|---|---------|
| ① 院内感染対策のための指針の策定状況   | 有・無     |
| <p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 病院感染対策に関する基本的な考え方</li><li>2. 病院感染対策のための委員会等に関する事項</li><li>3. 職員研修の実施</li><li>4. 病院感染発生時の対応</li><li>5. 病院感染対策マニュアルの整備</li><li>6. 患者への情報提供と説明</li><li>7. その他院内における感染対策の推進</li></ol>  |         |
| ② 院内感染対策のための委員会の開催状況  | 年 1 1 回 |
| <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 院内感染の調査、予防対策に関すること</li><li>2. 院内感染防止の実施、監視及び指導に関すること</li><li>3. 院内感染発生時の措置に関すること</li><li>4. 職員の院内感染の教育に関すること</li><li>5. その他院内感染防止に関すること</li></ol>  |         |
| ③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況  | 年 3 回   |
| <p>・ 研修の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 感染制御の基礎知識について</li><li>2. 針刺し切創防止対策について</li><li>3. 院内感染対策とHIV感染の現状</li></ol> <p>上記の講演会欠席者に対してはDVD上映会及びDVD回覧を実施している。</p>   |         |
| ④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況   |         |
| <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>厚生労働省・院内感染サーベイランス (JANIS) に加入し、検査部門と全入院患者部門の報告をしている。</p> <p>職業感染研究所へエピネット (針刺し) 報告を実施している。</p> <p>感染症予防法に基づく届出等のマニュアルに基づき報告している。</p> <p>院内感染対策委員会における審議内容を、病院運営会議及び病院連絡協議会において報告している。</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>コンサーテーション業務</p> <p>各部署 (職種別) 研修会・勉強会を実施</p> <p>定期的なICTラウンド (1 回/週) の実施</p> <p>微生物検出状況の把握及び耐性菌の検出や、通常は検出数の少ない微生物の検出等があった場合の感染対策の現状確認</p> <p>抗菌薬の使用状況の把握</p> |         |

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |      |
|--|------|
| ① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況   | ☑・無  |
| ② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況   | 年 4回 |
| ・ 研修の主な内容： 抗癌剤の調製時の注意事項<br>インシュリンの種類と作用<br>抗菌剤の使い方                                   |      |
| ③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況   |      |
| ・ 手順書の作成 (☑・無)<br>・ 業務の主な内容： 処方内容のチェック (相互作用、病名チェック)<br>調剤鑑査<br>患者面接 (初回面談)          |      |
| ④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況                              |      |
| ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (☑・無)<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>メーカーからの情報収集、整理<br>PMDAオンラインによる情報収集 |      |

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

|  |         |
|--|---------|
| ① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況  | 有・無     |
| ② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況  | 年 1 3 回 |
| ・ 研修の主な内容：<br>「人工呼吸器」「輸液ポンプ」「ペースメーカー」「補助循環装置」<br>「除細動、AED装置」「血液浄化装置」「高エネルギー放射線発生装置」<br>「放射線照射装置」等についての、<br>使用方法や点検、トラブル対策、有効性等を中心に研修実施しています。 |         |
| ③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況  |         |
| ・ 計画の策定 (有・無)<br>・ 保守点検の主な内容： 終業点検<br>定期点検<br>日常点検 を主に実施しています。   |         |
| ④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況  |         |
| ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)<br>・ その他の改善のための方策の主な内容：<br>関連インシデントの提出と改善分析<br>院内HPを利用した「安全情報」の共有化   |         |